

情報誌「日防設ジャーナル」の発刊に当たって

公益社団法人 日本防犯設備協会 代表理事 片岡 義篤



このたび、当協会では、防犯設備士を対象に情報誌「日防設ジャーナル」を発刊することにいたしました。従来、会員向けに会報誌を年4回発行していましたが、平成25年ころ協会事業が厳しかったため、やむを得ず経費節減対策として広報体制、活動を縮小し、会報も年2回に減らした経緯があります。

しかし、当協会や防犯設備士、RBSS等の知名度、認知度を上げるためにも、広報体制、活動の充実強化は喫緊の課題です。事業が回復基調にある今、必要なものは復活し、見直すものは見直した上で広報体制等の充実強化を図っていきます。

防犯設備士に対しては、メルマガを月1回発出していますが、防犯設備士に対するフォロー不足の感が否めず、その広報機能性も弱いことから、新たに「日防設ジャーナル」を発行することにしたものです。最新で信頼性があり、読んでためになる、役立つ情報を発信することをコンセプトに、年に2回、春と秋に発行することとしております。

対象は、防犯設備士資格更新をした者としていますが、これは昨年度から開始した3年ごとの資格更新制度と密接に関連しております。もともと協会には防犯設備士への教育義務が課せられていますが、特に資格更新制度を始めた現在、更新率の現状を鑑みますと、その施策の必要性は一層高まっています。これが、今なぜ情報誌を発刊するのかの理由です。

なお、「日防設ジャーナル」は、もとより協会の会員、警察等の関係機関、地域協会等にも配布します。また、ホームページやメルマガでも内容を閲覧できるようにする予定です。

当協会には、防犯設備士やRBSSという制度事業のレーザン・データル（存在価値）が揺らぐことのないように、常に環境の変化を注視し、制度機能の拡充強化を図っていくことが求められています。今後の制度事業のあり方を考えていくためにも、この「日防設ジャーナル」をそのためのツールとして活用していきたい。皆様のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。